経営比較分析表(平成29年度決算)

兵庫県 三田市

140 00

120.00

100.00

80 00

60.00

40.00

20, 00

0.00

当該値

平均值

99 90

100.07

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
_	96. 55	98. 72	2, 970	

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
113, 473	210. 32	539. 53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)
111, 594	71. 97	1, 550, 56

50.00

0.00

37. 98

253.86

35. 52

252.09

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1)経常収支比率、③流動比率及び⑤料金回収率とも

に削減した結果、④企業債残高対給水収益比率にお いて類似団体と比べてもかなり良好な数値であり、 過剰な企業債に頼らず事業運営が持続できていると

漏水調査の継続的実施により漏水の早期発見につな げた結果、⑧有収率については類似団体と比べて高 数値を維持しており、配水が確実に収益につながっ

すが、水質保持のため計画的に洗管を実施したため であり一時的なものと考えます。

おり、施設の規模は過剰でないと言えます。しか し、今後は給水人口の減少、節水意識の高まり、節 水器具の増加等により配水量は減少傾向にありま

比較的新しい管路の多い本市では、②管路経年化率 及び③管路更新率は類似団体と比べて低くなってお り法定耐用年数を超えた管路は少ないと言えます。 しかし、①有形固定資産減価償却率が50%を超えて いることから、施設・設備も含めた資産全体におい て、老朽化度合が進んでいます。また、施設・設備 は、法定耐用年数を超過しているものが多いため、 今後は耐震化も含めて、それらの資産の更新が必要 と考えられます。

[274. 27]

26. 37

265.92

経営の健全性・効率性について

く健全性について>

こ類似団体と比べて高く、安定的な黒字経営と判断 できます。しかしながら、平成26年度の会計制度見 直しにより導入された長期前受金戻入(現金を伴わ ない収益科目)等の影響により高数値に押し上げら れており、水道料金収入自体は、今後、減少傾向に あると見込まれます。 人口急増に対応するために要した多くの債務を着実

また、⑥給水原価が類似団体と比べて高くなってい

ましたが、コスト削減に取り組んだ結果、徐々に改 善されています。

<効率性について>

ています。 なお、H29においては、前年と比べて低下していま

また、⑦施設利用率についても類似団体を上回って

2. 老朽化の状況について

全体総括

いものと考えられます。

めることになります。

要があると考えます。

経営状況については、ほとんどの指標で類似団体よ

り良好であり、安定的な経営状態と言えます。しか

し、人口減少等の影響から「配水量の低下=水道料

金収入の低下」傾向にあり、今後の経営状況は厳し

中長期的な経営基本計画である「経営戦略」の策

定・公表をH30年度に予定しており、この計画にお

いて、施設・管路の整備時期が集中していることか

ら更新費用の偏りを避けるための費用抑制化・平準

化の方針である投資試算や収入確保策等について定

今後においては、この経営戦略に沿った事業運営を

推進し健全な経営に努めるとともに、将来にわたっ て安定的に事業を持続させるための財源を蓄える必

1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」

⑤料金回収率(%)

H27

119 18

106.69

「料金水準の適切性」

H28

122 50

106. 52

H26

114 55

106. 22

[104.36]

H29

123 73

105.86

250 00

200 00

150.00

100.00

50.00

0.00

当該値

平均値

H25

197 87

164. 93

H26

172 42

155. 23



「累積欠損」

⑥給水原価(円)

H27

165 69

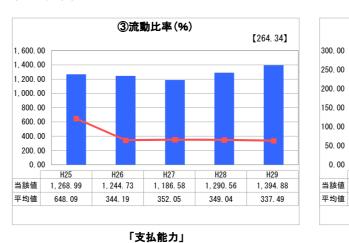
154.92

「費用の効率性」

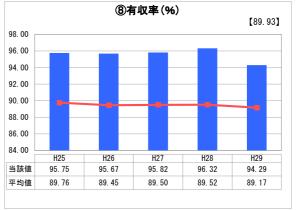
H28

161 30

155.80







④企業債残高対給水収益比率(%)

32.69

250.76

「債務残高」

29.35

254. 54

「施設の効率性」

「供給した配水量の効率性」

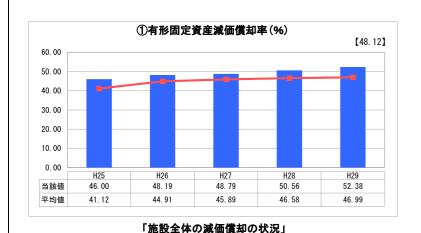
2. 老朽化の状況

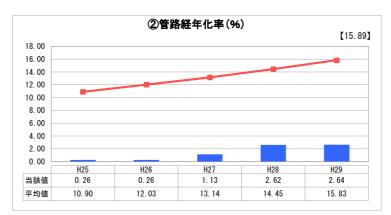
[165.71]

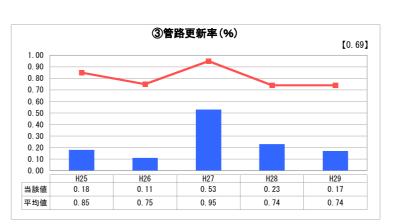
H29

161 24

158. 58







「管路の経年化の状況」

「管路の更新投資の実施状況」

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。